

2020年度 年末手当シリーズ②⑧

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

3.0ヶ月要求満額を勝ちとろう！

過去の内部留保は何のためのものだったのか？

海外事業の赤字を始めとする放漫・傲慢経営も問題にすべきだ。経営陣の責任も質すべき。全て「人件費での解決」というのは許せない！

本部と共に闘います！

今日は交渉の山場！

3.0ヶ月でも少なくらいだ！生活のためにも安定した年末手当が必要！

夏のボーナスも低額だった。経営側は真摯に向き合って欲しい！

学生時代の同級生たちと給料の話をするとうるの給料は低いことが分かります。でも安定していたので良いかと思っていましたが、ボーナスを下げられるようなことがあれば、この会社にいる理由が見当たりません。

最近、仕事を頑張っても意味がないと思い始めました。

会社幹部の現場訪問では「コロナで心配だろうが、会社は大丈夫です。明るく頑張りましょう」と話しています。しかも、あちこちでそう言う話を聞きます。

そうであるなら、年末手当も満額支給して社員に安心を与えて下さい！モチベーション爆上げ間違いなしです！リップサービスは要りません！

社長が会見で役員報酬と期末手当を押さえることで「費用を何億円か下げる」と言っていました。夏のようにボーナスの下げ幅が大きくなることは納得できません。

業績は徐々に上向き見込みがあるのだから、社員を奮起させるためにも**3.0ヶ月**出してほしい！出れば奮起しますよ！

私は無所属です。勇気がなく、周りの「2ヶ月出ればいいかな」などの話しにあわせていますが、本音はもっと欲しいです。

陰ながら応援しています。頑張ってください。